

平成30年度

第19回大分県教育委員会 議事録

日 時 平成31年1月8日(火)

開会13時35分 閉会14時7分

場 所 教育委員室

平成30年度
第19回大分県教育委員会

【議 事】

(1) 議 案

第1号議案 大分県スポーツ推進審議会委員の任命について

(2) 報 告

①第26回高校生ロボット相撲全国大会の結果等について

②第3回農業高校生の収穫祭について

③第62回日本学生科学賞の結果等について

④第27回国際高校生選抜書展の結果について

(3) その他

【内 容】

1 出席者

委 員	教育長	工 藤 利 明
	委員	林 浩 昭
	委員	岩 崎 哲 朗
	委員	松 田 順 子
	委員	高 橋 幹 雄
	委員	鈴 木 恵
事務局	理事兼教育次長	宮 迫 敏 郎
	教育次長	姫 野 秀 樹
	教育次長	後 藤 榮 一
	参事監兼教育人事課長	法華津 敏 郎
	参事監兼学校安全・安心支援課長	宗 岡 功
	参事監兼特別支援教育課長	後 藤 みゆき
	教育改革・企画課長	中 村 崇 志
	教育財務課長	佐 藤 誠一郎
	福利課長	阿 部 浩 康
	義務教育課長	米 持 武 彦
	高校教育課長	檜 崎 信 浩
	社会教育課長	石 井 利 治
	人権・同和教育課長	樋 口 哲 司
	文化課長	阿 部 辰 也
	体育保健課長	井 上 倫 明
	屋内スポーツ施設建設推進室長	山 上 啓 輔
教育改革・企画課主査	三 浦 晃 史	

2 傍聴人

1 名

開会・点呼

(工藤教育長)

それでは、委員の出席確認をいたします。
本日は、全委員が出席です。

ただいまから平成30年度 第19回教育委員会会議を開きます。

署名委員指名

(工藤教育長)

本日の議事録の署名委員でございますが、鈴木委員にお願いしたいと思っております。

会期の決定

(工藤教育長)

本日の教育委員会会議はお手元の次第のとおりです。
会議の終了は14時25分を予定しています。
よろしく申し上げます。

議 事

(工藤教育長)

はじめに、会議は原則として公開することとなっておりますが、会議を公開しないことについてお諮りします。

第1号議案は、人事に関する案件ですので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により、これを公開しないことについて、委員の皆さんにお諮りいたします。公開しないことに賛成の委員は挙手をお願いします。

(採 決)

(工藤教育長)

それでは、第1号議案は、非公開といたします。

本日の議事進行は、はじめに公開による議事を行い、次に非公開による議事を行いますので、よろしく申し上げます。

【報 告】

①第26回高校生ロボット相撲全国大会の結果等について

(工藤教育長)

それでは、報告第1号「第26回高校生ロボット相撲全国大会の結果等について」檜崎高校教育課長から報告いたします。

(檜崎高校教育課長)

報告第1号「第26回高校生ロボット相撲全国大会の結果等について」報告いたします。

1 ページをご覧ください。【概要】にありますように、本大会は、昨年の11月に福島県で実施され、本県からは、大分工業高校から4チーム、日田林工高校から1チームが地区予選を突破して出場しました。

2 ページをご覧ください。競技の概要について説明します。

ロボット相撲は、電子回路技術やアイデアなど創意工夫を凝らした生徒自作のロボットを力士に見立て、約1.5mの土俵上で勝負を決するものです。競技時間は3分間で、相手を土俵から押し出すと勝負が決し、2本を先取した方が勝ちとなります。ロボットは、重さが3kg以内となっておりますが、高さに制限はありません。装備している旗で相手を惑わしたり、強力な磁石で土俵に密着して相手を懐に潜り込ませないようするなど、作戦が非常に重要になります。

大会競技は、あらかじめ様々な戦術を記憶させたプログラムを設定し、戦術をその場で操縦者が選択して戦う「自立型」と、操縦者がロボットを自由自在に動かして戦う「ラジコン型」の2種類の部門があり、このうち大分工業高校は自立型部門において優勝しました。

優勝しましたのは、大分工業高等学校電気科2年生の内田 翔真さんと上田 征尚さんのロボット「秀麗Ⅰ」です。本日は、優勝したロボットを中央に展示しています。旗が開いた状態になっていますが、実際は旗が閉じた状態からスタートします。

大分工業高校は過去の大会で、去年は2位、一去年は3位と入賞経験はありましたが、全国制覇の達成は初の快挙となります。また、大分工業と日田林工の「ラジコン型」の部に出場した各1チームがベスト8入りを果たしています。

以上で、第26回高校生ロボット相撲全国大会の結果報告を終わります。

(工藤教育長)

ただ今説明のありました報告につきまして、ご質問・ご意見等のある方はお願いします。

(林職務代理者)

大分県のレベルは全国的に高いのですか。

(檜崎高校教育課長)

福岡県であった九州大会には大分県から18台が出場していますので、大分県のレベルは高いと認識しています。

(松田委員)

どのような方が指導されているのですか。

(檜崎高校教育課長)

2年前に世界一になった松永教諭が指導していますが、ロボットは生徒の創意工夫で自作していることから、今回の報告の中で指導者については触れておりませんでした。

(岩崎委員)

大分県の高校からは、自立型及びラジコン型にそれぞれどの程度の数が出場していますか。

(檜崎高校教育課長)

自立型には大分工業、日田林工、国東、津久見、鶴崎工業、中津東から11台が九州大会に出場し、7台がラジコン型に出場しました。

(松田委員)

重量は何kgまでですか。

(檜崎高校教育課長)

ロボットの重さは3kgまでになっています。

(高橋委員)

旗を開いて相手のロボットを惑わすというアイデアは先生の助言からですか。

(檜崎高校教育課長)

教員からの助言もありますが、代々先輩から受け継がれ、改良を重ねてきた結果だと思えます。

(岩崎委員)

ロボット規格は、幅20cm×奥行き20cmになっていますが、旗の寸法は規格規制に入らないのですか。

(檜崎高校教育課長)

スタート時は旗を立てているので規格内となっています。なお、高さには規制がありません。

(高橋委員)

競技が始まった後、旗を降ろして広げることは規格違反で反則とならないのですか。

(檜崎高校教育課長)

反則にはなりません。

②第3回農業高校生の収穫祭について

(工藤教育長)

次に、報告第2号「第3回農業高校生の収穫祭について」檜崎高校教育課長から報告いたします。

(檜崎高校教育課長)

報告第2号「第3回農業高校生の収穫祭について」ご説明いたします。
1ページをご覧ください。

この収穫祭は、県内9校10学科の農業系学科で学ぶ高校生が日頃の実習等を通して生産した収穫物に感謝をするとともに、県民の方々に農業高校の取組を知っていただき、農業の担い手を育成することの重要性について関心をもっていただくことを目的としています。

今年度は、1月12日(土)に、昨年度同様JR大分駅北口前のイベントスペースで、10時から開催し、各校の特色ある取組を紹介する展示やアトラクション、無料体験コーナー、それから農産物の販売などを行います。

今年度新たな取組として、各校生徒による学校自慢を行い、各校の特色を広く発信する機会にしたいと考えております。報告は以上でございます。

(工藤教育長)

ただ今説明のありました報告につきまして、ご質問・ご意見等のある方はお願いします。

(松田委員)

久住高原農業高校を宣伝するブースはあるのですか。

(檜崎高校教育課長)

久住校のブースがありますので、そのような部分を活用して紹介したいと思っております。

③第62回日本学生科学賞の結果等について

(工藤教育長)

次に、報告第3号「第62回日本学生科学賞の結果等について」檜崎高校教育課長から報告いたします。

(檜崎高校教育課長)

報告第3号「第62回日本学生科学賞の結果等について」ご説明いたします。

1ページをご覧ください。

昭和32年から始まり、高校生にとって日本一の科学コンクールとも言われている「第62回日本学生科学賞」において、大分上野丘高校が全国第2位に相当する文部科学大臣賞、同校で指導しております高橋慎一郎実習教諭が全国で1名だけの指導教諭賞を受賞いたしましたので、報告いたします。

審査は、まず各県で優秀作品3点を選ぶ第一次審査、そして、その中から最終審査へ進む作品を決定する第二次審査を経て、生徒と指導教諭が審査員と対面による質疑応答形式で行う最終審査が日本科学未来館において行われました。大分県からは大分上野丘高校、大分舞鶴高校、日田高校の3校が県代表として出場し、このうち大分上野丘高校が全国第2位ということでした。

「金属イオン濃度の簡易測定法」という研究の概要としては、従来、測定が難しいとされていた金属イオンの濃度を、コロイド水溶液と、ろ紙さえあれば簡単に測定できるという画期的な方法を開発いたしました。今回はその汎用性が高く評価され受賞に至りました。

なお、大分上野丘は、一番下の表にございますように、2010年と2013年にも受賞しており、この時から指導を続けております高橋慎一郎実習教諭が今回指導教諭賞を受賞しました。また、この中には記載がありませんが、大分舞鶴高校も入選しております。報告は以上でございます。

(工藤教育長)

ただ今説明のありました報告につきまして、ご質問・ご意見等のある方はお願いします。

(高橋委員)

今までの鉄イオン濃度だけではなく、銅やアルミニウムイオン等の他の金属イオン濃度を測定できる方法を見つけたということですが、過去に受賞した後も研究を続け、その結果、今回、受賞したということですか。

(檜崎高校教育課長)

従来、コロジオン膜について研究しておりましたが、そこから派生してきたという視点から見ると、先輩の研究を引き継ぎながら研究してきたとも言えると思います。

(高橋委員)

副賞の賞金は生徒の研究資金となっているのでしょうか。

(檜崎高校教育課長)

これまでは、いろいろな実験器具を買うことなどに使われておりました。

(林職務代理者)

指導教諭賞を受賞したのは、全国で高橋実習教諭一人ということでしたが、この賞は毎年誰かに与えている賞ですか。それとも彼に特別与えた賞ですか。

(檜崎高校教育課長)

それは、把握していません。

(林職務代理者)

大分県のこのような教育や研究が発展するよう取り組んでいただきたいと思います。また、高橋先生に続く活動が出てきてほしいと思いますが、高校で研究に当たっている先生のモチベーションはどうですか。

(檜崎高校教育課長)

この日本学生科学賞における科学部等への指導、活動もそうですけれども、SSH校にも同じように高い志をもって研究に取り組んでいる教員や実習教諭がおります。今回、このような賞もいただきましたので、そのような方がそれぞれの活動の中でしっかり取り組んでいる部分が広がっていくよう、しっかりバックアップしていきたいと思っております。

④第27回国際高校生選抜書展の結果について

(工藤教育長)

次に、報告第4号「第27回国際高校生選抜書展の結果について」阿部文化課長から報告いたします。

(阿部文化課長)

報告第4号「第27回国際高校生選抜書展の結果について」ご報告いたします。

「3 参加点数」にありますように、「書の甲子園」とも呼ばれる国際高校生選抜書展には、1人1点、各学校50点以内等の規定の下で、毎年9月に作品公募が行われております。今回はアメリカ、台湾など、12の国・地域から14,458点の応募がありました。

その結果が11月27日に発表され、「4 入賞結果」にありますように、団体の部では大分南高校が全国準優勝となり、昨年の全国優勝に続いての受賞となりました。また、個人の部では大分南高校3年の衛藤碧さんが最高賞である文部科学大臣賞を受賞いたしました。個人の部での文部科学大臣賞受賞は、県勢が3年連続の快挙です。

この他に、2ページにありますように、団体の部では竹田高校が九州山口地区準優勝、大分高校、臼杵高校、中津北高校が九州山口地区優秀賞を受賞いたしております。

また、個人の部では2位相当の大賞を受賞した竹田高校の佐藤 希さん、中津北高校の渡邊 恵果さんをはじめ、県内から154名が入賞を果たしました。

これらの結果は、大分県が書道強豪県である証といえます。

各作品は2月の表彰式終了後まで手元に戻ってまいりませんので、本日は個人の部で文部科学大臣賞及び大賞を受賞した3名の入賞作品を写真パネルで紹介させていただきます。

向かって右から文部科学大臣賞を受賞した大分南高校 衛藤さんの「ほうじゆ彭寿」、大賞を受賞した竹田高校 佐藤さんの「と ぼいんちゆうはつせんかまき臨 杜甫飲中八仙歌卷」、中津北高校 渡邊さんの「さんほうしひ臨 爨宝子碑」です。

今回の入賞は生徒の良さを引き出す指導者の尽力や高校生たちの日々の努力が実を結んだ結果と言えると考えております。
報告は以上でございます。

(工藤教育長)

ただ今説明のありました報告につきまして、ご質問・ご意見等のある方はお願いします。

(松田委員)

学校の選択授業で書道を選択する割合は高いですか。

(阿部文化課長)

選択授業における書道の選択割合について把握していませんが、大分県高文連加盟校では46校637名が書道部に所属しています。

(高橋委員)

展示しているパネルは現物どおりの大きさですか。

(阿部文化課長)

展示しているものは本日のために拡大したものですので、実際の大きさと異なります。

(工藤教育長)

それでは、先に非公開と決定しました議事を行います。その前に、公開でその他、何かございませんか。

では、先に非公開と決定しました議事を行いますので、関係課室長のみ在室とし、その他の課室長及び傍聴人は退出してください。

(関係課以外及び傍聴人退出)

【議案】

第1号議案 大分県スポーツ推進審議会委員の任命について

(工藤教育長)

次に、第1号議案「大分県スポーツ推進審議会委員の任命について」井上体育保健課長から説明いたします。

(説明)

(工藤教育長)

ただいま説明のありました議案について、審議を行います。ご質問・ご意見のある方はお願いします。

(質疑・意見等)

(工藤教育長)

他にございませんでしょうか。

それでは、第1号議案の承認についてお諮りいたします。第1号議案について、承認される委員は挙手をお願いします。

(採 決)

(工藤教育長)

第1号議案については、提案どおり承認します。

(工藤教育長)

それでは、最後にその他、何かございますか。

それでは、これで平成30年度第19回教育委員会会議を閉会します。お疲れ様でした。